

問題	正 答	配 点	採点上の注意
1	(1) $2x^2y^2$	4	45
	(2) 10	4	
	(3) $(x-1)(y-2)$	4	
	(4) ウ	4	
	(5) (あと) 7 (回)	4	
	(6) 5 (組)	5	
	(7) $\sqrt{70}$ (cm)	5	
	(8) $\frac{1}{3} \leq a \leq \frac{5}{4}$	5	
	(9) $12\sqrt{5}$ (cm <sup>3</sup> )	5	
	(10) (説明)(例) 14 m以上飛んだ飛行回数は、紙飛行機Bより紙飛行機Aの方が多いから。	5	「12m以上」「13m以上」も正答とする。 内容に応じて部分点を認める。
2	(1) (例) 	6	12 内容に応じて部分点を認める。  要点をおさえ、論理の筋道がおとっているものは、正答とする。 内容に応じて部分点を認める。
	(2) (証明)(例) 対角線 AC をひき、対角線 BD との交点を O とする。 平行四辺形の対角線は、それぞれの中点で交わるので、 OA = OC ……………① OB = OD ……………② 仮定から BE = DF ……………③ ②, ③から OB - BE = OD - DF OE = OF ……………④ ①, ④から、対角線がそれぞれの中点で交わるので、四角形 AECF は平行四辺形である。	6	

問題	正 答	配 点	採点上の注意
3	(1) 6と1と8, 6と2と7, 6と4と5	3	内容に応じて部分点を認める。
	(2) (説明)(例) Eに入る整数は4つの式にふくまれていて、5を入れて和が15になる整数の組み合わせの数も4通りで、式の数と同じだから。	6	
	(3) B, D, F, H	4	
4	(1) ① $y = 2$	5	18
	② $y = 4x - 8$	6	
(2) (面積) $\frac{50}{3}$ (cm <sup>2</sup> )	7	(QR=) 10 (cm)	
5	(1) $3\sqrt{2}$ (cm)	6	12
	(2) $\frac{32}{9}\pi$ (cm <sup>2</sup> )	6	
配 点 合 計		100	